

2019年2月14日

クラレトレーディング株式会社

2018年12月期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 研三
問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 三宅 富士夫
: (TEL) (06) 7635-1624

(百万円未満切捨て)

1. 当期の連結業績 (2018年1月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績

	当期 (2018年1月～2018年12月)		前期 * (2017年1月～2017年12月)		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	138,848	-	131,734	-	7,114	5.4%
営業利益	4,215	3.0%	3,924	3.0%	290	7.4%
経常利益	4,401	3.2%	4,106	3.1%	295	7.2%
当期純利益	2,972	2.1%	2,637	2.0%	335	12.7%

(注) 当社の連結子会社は、可樂麗貿易(上海)有限公司の1社となっています。

(2) 単体経営成績

	当期 (2018年1月～2018年12月)		前期 * (2017年1月～2017年12月)		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	137,583	-	130,292	-	7,290	5.6%
営業利益	3,775	2.7%	3,422	2.6%	353	10.3%
経常利益	4,059	3.0%	3,632	2.8%	427	11.8%
当期純利益	2,753	2.0%	2,284	1.8%	469	20.5%

*2018年1月1日付で、旧クラレリビング株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。親会社(株式会社クラレ)におけるセグメント情報等の開示との整合性の観点から、2017年12月期の金額には、旧クラレリビング株式会社の金額を含めて記載しております。

2. 当期の連結経営成績に関する定性的情報

当会計年度（2018年1月1日～2018年12月31日）における世界経済は、緩やかな成長を維持しました。当社が注力するアジア市場では、中国は米中貿易摩擦や中国政府の環境規制強化等の影響により、GDP成長率は昨年比で低下したものの、引続き6%台の経済成長を続けています。また、韓国、台湾に於いても景気は緩やかに拡大しました。

国内経済は、輸出はおおむね横ばいでしたが、生産や設備投資が増加し、雇用・所得環境も改善しました。

このような環境の下で、クラレグループの中期経営計画『PROUD 2020』における当社の戦略である「アジアでの業容拡大」「繊維事業の収益拡大」を積極的に推進しました。

以上の結果、当期の連結経営成績は、売上高は1,388億4千8百万円（前期比7.1億1千4百万円、5.4%の増収）、営業利益は42億1千5百万円（同2億9千万円、7.4%の増益）、経常利益は44億1百万円（同2億9千5百万円、7.2%の増益）、当期純利益は29億7千2百万円（同3億3千5百万円、12.7%の増益）となりました。

以下< >の中の名称は(株)クラレの商標です。

(1) 営業の概況

【繊維関連】（減収、増益）

売上高は457億6千1百万円。前期比6億9千3百万円(1.5%)の減収。

（衣料分野）

- 全般的には、原燃料価格上昇等による<クラベラ>のコストアップおよび、加工料金・物流費のコストアップがありましたが、販売数量増、商品構成等でカバーし、増収増益となりました。
- 縫製品ビジネスは、製品の高度化に努め、順調に販売を拡大しました。
- スポーツは、主要取引先との取組み推進により、テキスタイル・縫製品とも順調に推移し、増収となりました。
- ユニフォームは、ワーキング、サービス用途は前年並みでしたが、企業別注向けが堅調に推移し、増収となりました。
- フォーマルは、堅調に推移しました。
- 中東向けは、市況悪化の影響を受け、減収となりました。
- 原糸販売では、海外向けの高機能原糸の販売が拡大し、増収となりました。

以上の結果、衣料分野は増収増益となりました。

(資材分野)

- 18年度に吸収合併したリビング事業は、大幅な事業見直しにより減収となりました。
- 生活資材は、不織布等の販売が拡大しましたが、一部用途の販売価格低下により、減収となりました。
- 産業資材は、ビニロンを中心に堅調に推移し、増収となりました。
- 人工皮革<クラリーノ>は、概ね前年並みに推移しました。

以上の結果、資材分野は減収、増益となりました。

【樹脂・化学品・化成品関連】(増収、増益)

売上高は930億8千7百万円。前期比78億7百万円(9.2%)の増収。

- アジア向け輸出を中心に好調に推移しました。

(2) 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

当社の経営環境は、米中貿易摩擦長期化等の影響による中国の景気減速懸念やアジア諸国および国内経済への波及など、先行き不透明感が高まっていると認識しております。

このような環境下、中期経営計画『PROUD 2020』における当社の戦略である「アジア地域の業容拡大」、「繊維事業の収益拡大」等へ引き続き注力して参ります。

尚、2019年度計画における主要事業戦略は以下の通りです。

- 海外拠点との連携によるアジア向け販売拡大
- 繊維関連事業における利益基盤の一層の強化

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期 (累計)	700	22	22	14
通期	1,450	45	45	30

<注記>上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上